

部局名	安全環境部	所属名	戸籍住民課	所属長名	石井 悟	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3087		事務事業名称	勝田台市民文化プラザ維持管理事業					短縮コード	経常	3087	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	02	支所費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		消防法・電気事業法等							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・昭和62年に既存の支所・自治会館・消防署・交番の建て替えに伴い、図書館・文化センターを加えた複合施設を建設し、勝田台支所と図書館等の専有部分を除く共有部分の保守・管理を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
・昭和62年に建設された施設で当時としては、住民要望に応えたグレードの高い建築物であるが、管理していく側としては、割高の修繕等に苦慮している。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
					小項目（施策）	01	効率的な行政運営の確立						
					細 項 目	02	組織機構などの簡素化						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・勝田台市民文化プラザ建物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ①建物本体管理 ②共用部分の床清掃 ③駐車場の管理 ④共用部分の便所管理 ⑥館内監視及び警備 ⑦関係設備管理 ⑧支所部分管理							
	※平成20年度に計画していること： 19年度と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	・事故事件が発生しないよう最善を尽くして施設管理を行い、 故障が原因で施設の利用が不可能にならないよう適切に管理する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	勝田台市民文化プラザ	棟	1	1	1	1	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	管理日数	日	359	360	360	359	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	開館日数	日	359	360	360	359	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3087	事務事業名称	勝田台市民文化プラザ維持管理事業			所属名	戸籍住民課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8,343	8,250	7,282	7,855	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			非常用発電機設備修繕 809 消防設備保守点検委託 1,109 清掃業務委託 1,048 常駐維持管理委託 2,778	修繕料 765 委託料 7,247	消防用設備修繕565 消防用設備保守委託1,019 常駐維持管理委託2,758 清掃業務委託 689 自転車駐車場整理業務委託 870	修繕料500 委託料7,120	
	人件費(B)			千円	3,392.5	3,479.2	3,266.1	
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,735.5	11,729.2	10,548.1	11,334.2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	「効率的な行政運営の確立」のため実施している事業であり結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	老朽化した建物の維持管理が必要であり事業を継続していく必要があるため。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	市が所有している複合施設の維持管理事業であるため民営化の可能性はない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結び付けることができる。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	今後とも、メンテナンスを徹底し施設に重大なトラブルが発生する前に予防措置を講じ、未然に事故を防げ、施設の維持管理に努めていく。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)		
				2		実施主体 (所管部署)			
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3087	事務事業名称	勝田台市民文化プラザ維持管理事業			所属名	戸籍住民課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			施設も老朽化してきていることから、今後修繕コストも増大することが考えられるが、メンテナンス，チェックを行い，コストを抑えていく。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設も老朽化してきていることから、今後修繕コストも増大することが考えられるが，メンテナンス，チェックを行い，コストを抑えていく。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・利用者から駐車スペース（車）が不足しているとの苦情がある。 ・入り口前の歩行者道路において違法駐車自転車が歩行の妨げになっている。	

所属長コメント	・昭和62年建設以来20年を超え施設も老朽化してきていることから、修繕等の増加により経費の増大も免れないところもあるが，おおむね順調に管理できているものと思われる。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		